


ふりがな 氏名	たかはし はじめ	都道府県	岡山県	
	高橋 元			
所属/肩書	岡山県立矢掛高等学校 / 教諭 (サイエンス部顧問・環境科担当)			
私のESD活動	サイエンス部での科学実験教室による地域協力と校内での環境教育			

活動の概要

①私が矢掛高校に赴任した2年目から、サイエンス部の生徒とともに、町内で月に一回開催される朝市に参加し、子どもからお年寄りまで、地域の方を対象に科学実験教室を開催している。本校のある矢掛町は周辺の都市部に人口が流出し、高齢化が加速している中山間地域であり、本校へ入学する生徒も減少しているのが現状である。そこで、矢掛町主催で地域活性化を目的としている朝市を盛り上げるお手伝いをさせてもらい、高校生の活動を通して矢掛高校を地域の方に知ってもらうことを目的にこの活動をはじめた。この科学実験教室は科学実験おもちゃなどを中心に、安全・簡単に行うことができ、身近な科学の面白さを体験できることをコンセプトに行っている。幼稚園や小学生の子供が親子で参加してくれるため、朝市自体の集客にも一役買っているほか、地域のお年寄りとの交流の場ともなっている。また、異世代と関わる機会の少ない本校生徒にとって貴重な体験の場となっており、進路選択にも活かされている。過去の実施内容等は先輩から後輩へ引き継がれるようになっており、現場での活動も生徒だけで行えるようにしており、顧問が転勤によって変わった場合にも活動が引き継がれるように工夫している。

②本校の環境教育を担当しており、身近にある環境問題を取り上げ、生徒の問題解決力等を伸ばせるような授業形態を他の教員と模索している。

今後の活動や協働への展望

サイエンス部の朝市への参加は理系の生徒だけでなく、教育、経済、地域学などを考えている生徒に対しても価値のある教材であると考えている。しかし、学校から地域へ出向だけの活動になっており、それ以上の広がりをもっていなかったため、他の機関や実践者と協力し、より発展性のある学びの場としていきたい。現在、朝市への参加は5年目となり、地域の方に矢掛高校の生徒を知ってもらうことはできつつあるものの、生徒から地域のことを知り、地域のための活動を生徒主体で行うことはできておらず、次の目標と考えている。生徒から新しいアイデアは出てきているのでそれを形にしていきたい。

私はESDの核となる考えは視点教育であると考えている。年齢・性別・職業・地域・国など様々な立場からものを見ることで100人が100通りのものの見方をすることが可能であり、それぞれの立場から解決策を考えることが可能である。そして、それぞれの立場を尊重しつつ活動することで、一つのものの見方ではたどり着けない問題解決につながっていくと考えている。そのため、多くの視点で考え、他とのつながりを意識できる教育を目指していきたい